

# ASK ニュース

Vol.0139

2015年1月5日(月)

担当：MS事業部 山田

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

## 本の読み方

### はじめに

新年を迎えて、今年こそはたくさん本を読もう、と思っている方も多いことと思います。そこで今回はおすすめの本の読み方を紹介します。

### 本の分類

本には大きく分けて3種類の効果があると言われています。

- ①勉強のための本
- ②知的好奇心を満たすための本
- ③娯楽、リラックスのための本

ここでは①の勉強のための本の読み方について紹介いたします。

### その読み方で身に付きますか？

なにか新しく知りたいことを学ぼうとする時や今後進みたい方面の勉強をしていかなければならない時、大抵の場合が一冊のマニュアル本を読むか参考書を使って勉強しようとするなど、何か堅苦しいもので学ぼうとしがちです。しかし、これはノーセンスです。これは学校の勉強方法なのです。きちんとまとめてあって「なるほど」となり易いですが、実際の行動にはまるで使い物にならず、本質というものが理解しにくいのです。

### 具体的な読み方

最初に、超初心者でも分かる学びたい分野の全体像を集めた本を複数冊読むことです。これはその分野の本当に基礎的な部分を専門用語無しで書いてくれているのです。頭に入ります。複

数冊読むのは、大事なところであったり、その分野で共通認識となっている事柄を押さえるためです。

その分野の大体のイメージがつかめたら、少しずつ詳しい本を読んでいきます。これは、その分野の知識について掘り下げていく読み方です。

普通はこれで終わる場合が多いのですが、さらにおすすめの読み方として、その分野の小説を2~3冊読むことです。基礎知識もあるから何となくでも理解はし易いでしょう。しかも、知っている単語ばかりになっているので、勉強のはかどり方が全然違ってきますし、何より小説ですから読むのが楽しいですね。

実は、違う視点から勉強しているので頭への残り方は全然違います。小説で疑似体験もしていますから、その知識を生かすのも容易になっています。

### 終わりに

読書は人生を豊かにしてくれるものです。本をよく読んでいる人とお話しすると、知識や思慮の深さを感じるものです。

少なくとも自分の興味のある分野や仕事に関わる分野の本は上手な読み方をして、何冊も読み進めていきたいですね。

